一般質問（要旨）

市政のここが聞きたい

今定例会では、14人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。今回から一問一答方式の試行が始まり、従前の一括方式あるいは一問一答方式のどちらかを議員が選択し、質問しました。概略の掲載は一人一問とし、4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載しました。詳しくは、5月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市のホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認しています。

国の平成20年度第2次補正予算における妊婦健康診査事業の対応は　青海 俊伯 議員

質問　妊婦健診の公費負担はそれぞれの自治体によって異なるが、どんな計画で対象者へ理解を求めようとしているのか。また、どのような形で14回の公費負担を計画していて、妊婦の自己負担はどれぐらいになるのか伺いたい。

福祉部長　東京都全体で診療項目を1回目が8項目、2回目以降が6項目と決めているが、この妊婦健診は自由診療であるため各医療機関によって自己負担分が出る場合もあるが、公費負担額は1回目8500円、2回目以降1回につき5000円で、14回で7万3500円となる。

▲母子健康手帳と健診票

総合的な雨水対策で ゲリラ豪雨に対応を　清水 義朋 議員

質問　昨今のゲリラ豪雨など急激な降雨量に、都市型水害では下流に行くほど被害が大きくなるが、その対策に有効な雨水浸透ます設置に市民の関心はいま一つである。現状も含め雨水対策の考え方を伺いたい。

市長　20年度末で雨水幹線事業はほぼ完成したが、近年のゲリラ豪雨は施設整備を超えた降雨量であり、一時的に道路冠水することもあるので、雨水浸透ます設置のPRを実施し、車道を浸透舗装にするなど積極的に対応するとともに、地球温暖化防止のCO_2削減への取り組みも含め、総合的な雨水対策を強化していきたい。

▲雨水浸透ます

21年度予算編成「五つの元気」の施策実現化の取り組みは　大野 聰 議員

質問　21年度予算編成を終えて市長の「五つの元気」実現への思い、施策化への検討経過と事業内容、予算額、今後の方策と課題は。

市長　いずれの分野でも施策の展開が図れたと感じている。ワーキングチームも効果的に機能し、最優先施策として予算化した。来年度も引き続き検討させたい。また、課題は財源の確保の問題だと考えている。

企画財政部参事　新規事業は、認定子ども園開設準備経費補助など、レベルアップ事業は乳幼児医療費無料化、妊婦健診の拡充などで、概算予算額は3億6200万円である。

期待される子どもの医療費無料化その経過や内容は　田村 正秋 議員

質問　市長の施政方針では、「子育てが元気」の施策として幼児と義務教育就学児の医療費負担の所得制限を撤廃し、中学生までの医療費は無料化するということで感動し、大いに期待しているが、その内容等について考え方を伺いたい。

市長　平成21年10月1日から、二つの医療費助成制度については、保護者の所得制限を撤廃することにしたが、このうち義務教育就学児医療費助成制度については、一部都と協議中のため、今回は所得制限撤廃に関する一部改正とし、無料化に関する改正は6月市議会で提案したい。

福生市障害福祉計画（第2期）今後の課題は　乙津 豊彦 議員

質問　地域福祉推進委員会からの答申をもとに今年度中に計画書として作成し、来年度から適用されるとのことだが、平成23年度までに目標を達成するための考えられる課題は何か。また、3年間と比較的短い期間の計画だが、途中で見直しが入る可能性はあるか伺いたい。

市長　相談支援業務の中に地域自立支援協議会設置が掲げられており、なるべく早期に設置ができればと考えている。また、見直しが必要な場合は国から改めて連絡するとのことだが、現在、そのような連絡がないため見直しはないものと考えている。

▲障害者週間の展示風景

「高齢者の働く拠点」の会館建設を　末次 和夫 議員

質問　シルバー人材センターはさくら会館の一角を借り活動しているが、全体に手狭で働きづらいとの声が会員から出ている。高齢化社会が進み新たな事業展開のためにも、未利用地の活用も考え、高齢者の働く拠点として会館建設が必要と思うが。

市長　平成11年のさくら会館改修時には市としても最大限努力し、現在の事務所等を確保した中で、パソコン教室、女性の会等活動が充実してきた経過があるが、シルバー人材センターとも相談した上で必要性の度合い等確認し、今後の検討課題とすべきかどうか見極めていきたい。

▲シルバー人材センター事務室

市民要望の多い牛浜駅舎改修工事に向けての進捗状況は　武藤 政義 議員

質問　牛浜駅はエレベーターがなく、議員や多くの市民から要望があり、市長の施政方針でも牛浜駅のエレベーター、エスカレーターを含む自由通路の整備及び駅舎の建替えに伴う基本設計委託を実施するとのことだが、現在の進捗状況と今後の見通しを伺いたい。

市長　平成21年度早々に確認書を取り交わし、21年度に基本設計、22年度に詳細設計と駅舎改修工事に着手し、公園等周辺整備を含め、24年度に事業全体を終了するというのが現段階でのJR東日本の工程となっている。

▲改修が待たれる牛浜駅